

FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第68号(2007)

特集 カナダ渡航

広がる友情の輪

交換委員長 沼 純子



Stanley Park, Vancouver, BC にて

カナダのFraser Valley との交換には、埼玉クラブから20名が参加。夫婦が4組、初めてFFの渡航に参加した人が5名でした。20名中11名が7泊8日のホームステイ後帰国し、残り9名は続けてカナダやアメリカを旅行しました。

Fraser Valley Clubは、バンクーバーから車で約30分のところにあり、1年くらい前にできた新しいクラブですが、私たちが心から歓迎してくださり、お陰で大変充実した日々をすごすことができました。

滞在中のプログラムは以下の通りです。

- 6月17日(日) 午前バンクーバー着、ホスト宅へ。 Welcoming Dinner(potluck)
- 6月18日(月) バンクーバー観光 (Stanley Park, Linn Valley, Granville Island
Sunset Dinner Cruise)
- 6月19日(火) フリー・デイ
- 6月20日(水) Whistler (2010年Winter Olympic開催地) へ
- 6月21日(木) Langley市長訪問 Fort Langley 歴史博物館 先住民の儀式と展示見学
- 6月22日(金) The Gleaners (農産物加工場) MMC(リサイクル工場)見学
Harrison Hot Springs, Minter Gardens, Barbeque dinner at Bridal Veil Falls
- 6月23日(土) Stevenston Cannery(缶詰工場)見学 Farewell Dinner (potluck)
- 6月24日(日) バンクーバー発 25日(月) 成田着



もっとホストと過ごす時間がほしかったという感想がかなり出ました。確かにもう1日フリー・デイがあればよかったなと思います。28名の会員で20名を受入れ連日、車で案内していただいたのですから、ホスト・ファミリーは大変だったことでしょう。

Fraser Valley クラブのみなさんの熱意と行動力に、感服し、心から感謝いたします。

中でもEDで私たち夫婦のホストでもあったバーバラは

純粹で一途で、彼女のFFへの燃えるような情熱に打たれました。「あなたと知り合えたことが今回の渡航の最高のお土産」という言葉を添えて、帰国後彼女にお礼のメールを出しました。

渡航にせよ、受入れにせよ、暖かい心の触れ合いがFFの何よりの魅力です。

多くの方たちにこういう体験を味わっていただきたいと今強く願っています。

特集 カナダ渡航



初めてのホームステイ

百名 良子

カナダ、ホームステイ、フライト、すべてが生まれて初めての経験でした。

初パスポートの取得から始まったカナダの旅は、メンバーの方々、特に一緒にステイしてくれた野澤さんのおかげで全く不安もトラブルも無く心地よく終わりました。なんと、日本ではまず体験できないRV車に寝泊りしたのもいい思い出となりました。

中には、同情の声もあったようですが、私達は結構気楽に過ごせ逆によかったのではと思っています。

滞在中はあまりのハードスケジュールでカナダの豊かな自然を満喫するというゆとりは無かったのが現状ですが、今写真を整理しつつ、やっと今素晴らしい自然に恵まれたカナダの良さをしみじみ感じているところです。

カナダのメンバーの方々は、とても教養があり文化などの話もはずみ、有意義な会話ができました。ホームステイということで気疲れはしましたが、FFの主旨である文化交流の点では、成功ではなかったでしょうか。

書道や茶道を紹介

児島 英子

私達はUnited Statesの国境に近いAbbotsford にステイしました。

毎朝お祈りをしてからの軽い朝食。家に戻ってくるのはいつも夜10時過ぎと忙しいプログラムでしたが、大自然の中、美しい山々、広大な台地、すべてスケールの大きさに驚きと満足でした。

多くの方がボランティア活動に参加し、ご高齢(?)の方が生き生き仕事している姿、にこやかに給仕のサービスをしてくれる姿が印象的でした。

Fraser Valley クラブは日本との交換は初めてで日本文化を紹介する良いチャンスと思い、主人は書道道具、私はお茶道具を持参しました。忙しい毎日の中最後の日にホストに体験してもらいました。わずかな時間でしたがとても喜んでくれました。(続く)

この一週間夕食にホスト家庭の味を食することなく終わりましたが、これも広大なカナダ流かな?とひとり納得しています。

ホスト同士多少行き違いがあったようですが、少ない会員の中で受け入れする事は大変な事です。会員皆で協力し、受け入れしなければとさらに感じました。

初めての渡航を経験してみても

児島 正彦

カナダ、バンクーバーのFraser Valleyへの渡航では皆さんに大変お世話になりました。

観光旅行へは幾度となく出かけっていますが、今回の様なフレンドシップの一員として行く事は初めての体験であり、自分自身として色々考え、緊張していましたが、一緒に同行したフレンドシップフォースの皆さんの良きアドバイスを頂き、そして私の妻の気使いによりカナダバンクーバーでのクラブ交換が私なりに楽しく過ごす事が出来ました。

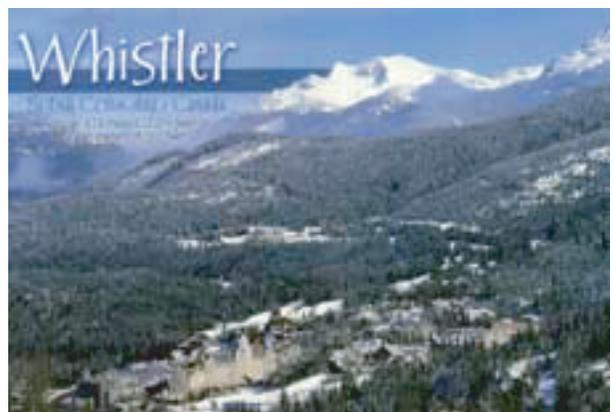
フレンドシップの交換事業として何度も受け入れはしましたが、渡航してみるとホストの方の対応とそのクラブの受け入れのやり方、会員皆様の協力と考え方が解るような気がしました。特に初めての体験である事と、余りにも広く、そしてホストファミリーの家が離れており車での行動しかない為車社会を実感した次第でした。

私たちのステイした方はFred & Carol Loewenさんと2人暮らしの、カナダでは普通の家との事でしたが部屋数もあり、庭の広い家でした。

現地で戴いた、しおりにはピッタリのスケジュールとなっており受け入れホストの方々は大変苦労され作成したのではないのかと思いました。どこに移動するのも全てが車、その運転に若くないホストが東西南北広い大自然中、観光地へと運転しなさぞかしお疲れの事、ご苦労様ですと、感謝し敬意を表します。

いずれにしても毎日忙しく色々な観光地に案内をしてもらおうと共に、大勢の皆さんに歓待をして頂き心の暖かい交換が出来たと思っております。

只、自分で思う事は語学不足を痛切に感じたしいですでもハートですよ。



特集 カナダ渡航



Motor Homeの生活

野澤 明子

玄関先から道路にはみ出るバスほどの大きさの"Motor Home"から、ホームステイは、始まりました。屋根に落ちる雨音で目覚め、車のエンジン音は、ホスト夫妻と息子さんの早朝の出勤の合図でした。合図！の度に、Motor Homeから外に飛び出して、手を振って見送りこれも又楽しいひと時でした。

カナダの大自然の中での、バーベキューランチ、トリアル、ボランティア活動やリサイクルセンターの見学先住民の式典参加など、朝から晩まで盛りだくさんのスケジュールも、忙しいホストにかわり、交替で送り迎えや、車に便乗させていただき、過ごすことが出来ましたテーブルの上のスマイル付きメッセージも、毎日会えないホストからの心温まるものでした。

すべてが貴重な体験となり、受け入れてくださったホストをはじめ、クラブの皆さんに心より感謝申し上げます。

充実のカナダステイ

仲澤 幸子

今回は二度目の渡航で少し余裕を持って参加することが出来ました。

希望していた三人での受け入れをかなえて頂いたのは嬉しかったのですが、ステイ先が会長さんのお宅ということで、前にはなかった緊張が伴いました。ウェルカムパーティ、フェアウェルパーティが共に会長宅で行われ滞在している私たちは何をお手伝いしたらよいのか戸惑いもありました。出来る限り頑張ったつもりでしたが、今考えると至らないことがたくさんありました。他にも、ブライダルベールフォールでのバーベキューも、会長さんが用意して下さっていた様で、ホストはいつも忙しそうでした。

グリーンズ（規格外の野菜をシニアのボランティアが加工して恵まれない国々に送る）、MCC（不用品をボランティアが修理して安価で販売して収益を活用する）の施設の訪問はとても有意義なもので、日本ではいかに物を大切にしていなかったかを実感しました。

その他、サンセットクルーズ、ウィスラー旅行、先住民の方とのふれあい、鮭の缶詰工場の見学など、連日色々な所に出かけ充実した日々を過ごすことが出来ました。たくさんの方々の行事を計画して、温かく楽しく接して下さり、ホストの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当に楽しい一週間でした。

盛り沢山のスケジュール

渡辺 妙子

今回初めて参加させていただきました。

期待三分、不安七分の心境のままの出発でした。

ホストのOrestさんが出迎えてくださり、感激しました

いただいたMail通りの広大無辺のfieldと広い邸宅に目を見張るばかり。お会いしたらあれこれ何うことも考えておりましたが、その機会を逸したまま語学力の乏しい自分がいやになり、二日目には、早く日本に戻りたいと思う始末です。

初日はWelcome Party、次の日はSunset cruiseとdowntown次の日はwhite rockで夕食、翌日はWhistlerへ一足早く2010年のWinter Olympicの会場ヘリフトで上がり、1,200mからの眺めは雪をかぶった連山が、絵葉書そのまま目の前に飛び込んできました。

また Fort LangleyのAboriginal Dayでは、祖先を敬愛するceremonyに出席。22日は、Gleaners見学。MMC（リサイクル）の組織とすばらしい作業風景は感動です。seniorの方々の日常生活を垣間見て羨ましくもあり、考えさせられることも多々ありました。できることは精一杯参加する、そんな姿勢が輝いていました。

手作りの昼食をいただいた後Hot Springへと少々歩きBridal Veil Fallsのしぶきを浴び、ベンチでバーベキュー。

最終日はCanneryへ、午後はFarewell dinnerで盛り上がり、毎日が感動で、盛り沢山のスケジュールも、他では味わえない内容の濃いものでした。ホストのDonnaさんも、膝の関節痛を耐えて受け入れてくださったことに感謝しております。次回は、念入りな準備をしなければと、反省のみです。

皆さまにお礼を申し上げたいと思います。



特集 カナダ渡航

シニアのボランティア活動

竹内 和歌子

日本では考えられない1200坪の敷地と、会長さんの家にステイするという事で緊張しながら渡航しました。お会いしたホストのOrestの素敵な笑顔と頼りがいある優しさに少しホットしました。空港から自宅までの窓から見る広大な景色の美しさ、道路はごみもなく綺麗、そして車のランプは常に点いている、カナダでの第一印象でした。

見学や活動に毎日参加し雄大な自然や歴史に接し感動でした。

奥様のDonna ご主人のOrestお二人は常に他のホストに気を配りながら私達三人にも気配りして下さいました。

カナダのシニアの人々は元気で頑張っていると感心しました。シニアの大勢の人達がボランティアで働き工場が成り立っている事、そしてそれを貧しい国に無償で送っていることに感激しました。

FFで参加できたことによりカナダの人々のボランティア精神を知ることができ感謝しています。

初めて経験したホームステイ

中林 八重子

FFフレイザー・バレーの方々のご好意に甘え、楽しい一週間を過ごさせていただきました。

見ず知らずの私たちを快く迎え、受入れ、もてなしてくださいました。そのもてなしが並大抵ではなく驚きでした。貴重な時間をさいて色々なところに案内してくださいました。その費用も大変だったと思われます。お蔭さまで遠出したウイスラー行きでは一部費用の負担があったとはいえ、お天気にも恵まれ、スケールの大きい雪山の眺めは最高でした。また、サンセット・ディナークルーズでは、チャーター船での3時間に及ぶクルーズに、ゆったりした贅沢な思いをさせていただいた気がいたします。

私がお世話になったホストは、今は退職されボランティアをされているご主人との二人暮らし。私たちがお掃除しようとしても、「それは私の仕事ですから」といわれる優しいご主人、居心地のよいお宅でした。



初めてのカナダ

池田 完之・尚子

小生にとって今回の渡航はフレンドシップの一員としても またカナダも初めてでしたので行く前から楽しみにしておりました。

6月17日バンクーバーの空港でホストのVelma と Rod に会った時の初印象は大変良いものでした。空港からバンクーバーのダウンタウンを經由し、途中の景色を楽しみながら車で1時間半ほどのAbbotsfordのホストの家に到着。一階は車庫兼倉庫とシアールームを持つ二階を生活の本拠にする家で、その後一週間過ごした二階の部屋は窓から遠くに雪山が見られる見晴らしの良い快適なところでした。

ホストに連れられ出席したウエルカムパーティーもブレジデントの家の二階だったので、日本の生活は一階がベースだけどカナダは二階が多いのかな、と考えながら現地の方々の温かいもてなしを受けました。

Velmaは敬虔なクリスチャンで、カナダのオリンピック代表の座を争ったフィギュアスケートの元選手とのことで、食生活も健康を意識した満足のいくものでした。

Rodはアウトドアが好きなようで近郊の殆どの山々は勿論、インディアンの生活や彼らの現在おかれている状況に精通しているようでした。

6月24日の別れの際にホストと日本での再会を約し お互いのFriendshipを確認しました。

今回は小生にとって、現地の方々とのお付き合いに加え、才能豊かな埼玉フレンドシップの方々との知り合いになれ、大変有意義なカナダ渡航となりました。

お世話して下さいました。有難うございました。



特集 カナダ渡航

はずむおしゃべり

稲垣 洋子

良く手入れされた小さな中庭を眺めながら、焼きたてのマフィンに手作りのジャム、時にはきのこ入りふわふわオムレツで始まる朝は、はずむおしゃべりに、つい出発時間も忘れるほどでした。

私のホストのパムは、持ち前の好奇心とゆきとどいた心遣いで、いつも楽しく接してくれました。前々から収集してくれたバンクーバー

のイベントの記事の切り抜きや、美術館、ガーデンの入場料割引券など、到着したその日から使わせてもらい重宝したものです。

私が趣味で生けた花の写真の裏に感謝の言葉を添えて寝室に置いてきたのですが、パムはこれが気に入って、さっそく額縁に入れて飾ってくれるとのこと、うれしい限りです。

こんな楽しかったホームステイでしたが、一つだけ気になった事があります。パーティでは、車を運転する人も平気でワインを飲むことです。夜でもけっこう車が多く、スピードもだすので心配です。カナダでも禁酒運転だそうです・・・

ところで、次にパムが日本に来たら、何をしてあげようかと、今から心待ちにしています。



愉快的ホスト

綿部 恵美子

私のホストはとても明るい人。冗談が大好きでいつも私を笑わせてくれました。又細かい気配りと共によく面倒もみてくれますばらしいホストでした。まだ新しいクラブで勉強中とは思えないくらいFFを理解していたと思います。ただおちょこちょいな面もあり他のホストさんに迷惑をかけたのが分かった時は私も一緒に心配してしまいました。連日のように朝早くから夜おそくまでのスケジュールは彼らにとって大変だったと察します。そして感謝一杯です。どこもきれいな自然の中、夢のような一週間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

「デイスカバー中林」の旅

高橋 京子

カナダ渡航はアメリカに次いで2回目ですが今回も又"人間再発見"の旅となりました。どこまで行っても途切れない森林、その中に点在する花々に囲まれた大きな家々、美しく設えられた室内、安全で・清潔で・落ち着いた国カナダ!と、穏やかで、フレンドリーなカナダの人々に魅了されました!!行く前は知識も興味もそれ程なかったのですが"カナダ発見の旅"でした。

そんな幸せな旅を通して更なる大発見がありました!それは身近に居ながら通り一片の挨拶で終わっていた'埼玉

クラブの会員'と親し

い日々を送るうちその

方々の素敵な生き方、優しさ

素晴らしさに、触れたことでした

特に寝食を共にしたパートナーの中林さ

んには、静かな面立ちの下に秘められた、熱

い好奇心、ワイルドな行動力をみるにつけ"デイス

カパー中林"と"素晴らしい人間探求の旅"に一步も二歩

も踏み出すことが出来ました! 皆さんありがとう!



充実の七日間

高畑 美千子

一昨年の英国に続き、2年ぶり、二度目の渡航に参加させて頂きました。カナダへは8年前にプライベートで訪れたことがあります。FF会員としての滞在は、当然のことながら、まったく趣が違います。観光旅行では絶対に行くことがないであろう様々な施設を訪れ、ありのままのカナダを肌で感じる事ができました。1週間を目一杯使って私達を楽しませ、且つ有意義な旅になるよう心掛けて下さったことに感謝しつつ、新しいクラブの意気込みを強く感じました。

ホストのケイさんは元小学校教師で、現在も知的障害者の先生をなさっているそうです。とても優しい話しぶりが印象的です。73歳というご高齢にもかかわらず、遠路の運転など大変お世話になりました。リターンエクスチェンジで再会できることを、心から願っています。

又、同宿の浜さんとは、多種多様な思い出を共有することが出来ました。ベストパートナーであったと、お互いに(?)認め合っています。

特集 カナダ渡航



はらはらドキドキの一週間

浜 敬子

2度めの渡航で、少しは余裕があった。また、頼りになる高畑さんと一緒というおまけもあったし。カナダ、特にウイスラーなどは、私が若いころスキーに行きたくてあこがれていた所。空港にみんなより遅れてやって来たホストのケイは上品な婦人、73才。7人乗りバンをばんばん飛ばす。家に案内され、しばらくして私達は悟った。こんな生活もあり、だと。彼女は片付けられない症候群の人。過去の物に囲まれ未来を語り現在を生活していた。雄大な自然と環境に配慮した施設見学の後でも彼女の現実と向き合うと色あせてしまう。毎日のように何かが起こり奮闘させられた一週間。ケイさんとの生活は不自由であったにもかかわらず、それゆえに、私は彼女との暮らしを少しは共有できた満足感を覚えている。ということは私も予備群？

献身的な歓待を受けて

岡田 一夫・久仁子

ビルとトゥリキシーは、我々とほぼ同年輩の、とても気配り上手なやさしいカップル。子供や孫達の写真を見せて家族を紹介すると、すかさず7人の孫の写真を持って来てあれこれ話が始まった。孫を可愛く思うのはどの国に行っても同じらしい。フォート・ラングレー見学の夜、そのうちの4人が我々を訪ねてきてくれた。日本人と話すのは勿論初めての経験なのだが、彼らもすぐ慣れて総勢12人の集まりは大変賑やかに盛り上がり、お陰で我々も一層愉快的な時を過ごせた。

ところで、ほぼ毎日がイクスカーションという日程のなか、会員数が少なく且つホスト宅が広範囲に点在しているにも拘らず、疲れも見せず全ホストが連日献身的に面倒を見てくれたこと、ランチやらバーベキューの用意移動時の車の運転・費用などの大きな負担のお陰で、カナダの自然を満喫できたことに対し、真に頭のさがる思いで胸が一杯になった。

身近な国カナダ

田中 加代

カナダは、私が小学校一年の時に初めて来訪された外国人がカナダの宣教師の老婦人で、祖父が熱心なクリスマスチャンだったこともあり、クリスマスに家族全員に素敵なプレゼントを贈っていただいたことからとても印象深い国でした。また従姉妹の息子がカナダで3年暮らし、今通っているスポーツクラブではカナダで過ごした日本人とチェコ人のカップルがいたり、本当に身近に感じられるところです。

フレイザーバレーでは期待以上の歓迎を受け、満足のいくホームステイになりました。何時までもこの思い出を大切に時々反芻しながら、浸っています。ホストの方はどんなにかお疲れかと逆に心苦しくもありました。ハブニングも多々ありましたが、最高の条件とタイミングのなかで行ってこられたのではないかと思います。ED初め各お役目の方々本当にお疲れ様でした。

バンクーバーの印象

沼 禎昭

海と山と森の美しい自然に囲まれた素敵なバンクーバーで、ホストの皆さんとごやかな交流ができて本当によかったです。オレストさんの広い庭でゆかた姿で一緒に花笠音頭を踊ったのは何よりの思い出となりました。

それにしてもあれだけの観光スポットと見せるべきポイントを選び、すべて自分達の車で案内し、ランチやディナーも用意するのはホストにとって大変なことだっただろうと感謝と共に申し訳ない気持ちもしています。

案内してもらった数々の素晴らしい風景はまだ頭に焼き付いていますが、それ以外にフォート・ラングレーやUBCの人類学博物館で観たカナダの歴史や原住民の文化などについては、初めて知ることばかりで興味深く大変勉強になりました。それに原住民の文化を大切に守ってこういう姿勢にも感銘を受けました。

グリナーズで見た農作物の余りものから乾燥スープをつくり、飢えに苦しむ地域に送る組織だった奉仕活動は、さすがにクリスチャンの国だと感心しました。多くの高齢者の方が作業しておられる姿を見て頭の下がる思いでした。





CLUB CALENDAR

8月5日(日) 10:00 理事会 シーノ7F講座室3
 13:30 サン・アントニオ受入れ交換委員会 シーノ9F学習室1
 8月25日(土) 10:00 韓国渡航第2回ワークショップ 5F講座室2
 9月9日(日) 10:00 理事会 シーノ9F学習室3
 9月22日(土) 13:00 韓国渡航第3回ワークショップ 5F講座室2
 10月5日(金)~10日(水) 韓国渡航

お知らせ

来年度の交換について

受入れ・・・Huntsville(アラバマ州) 2008年4月上旬 交換委員長 稲垣洋子
 渡航・・・Riga(ラトビア) 2008年7月5日~12日 交換委員長 岡田一夫

なお、今年中に2009年度の交換希望を提出することになりますので、
 渡航希望地についてご要望をお聞かせ下さい。

日本大会について 於山口県宇部市文化会館 (懇親会・宿泊は国際ホテル宇部)

日程: 10月20日(土) (午後)大会1,000円 (夜)懇親会7,000円
 宿泊(朝食付)6,500円

10月21日(日) (オプション)一日観光・萩/下関方面3,000円

問合せ/申込み: 沼まで 048-853-0411

新会員2名紹介

さいたま市見沼区 五十嵐佑子

3月に初めてウエルカム・パーティに参加させていただきました。豪華な手作りのごちそうや手品、ゲームなど、会のもてなそうという熱気に圧倒されました。片田舎で育った私には全く違う世界で、できるか不安ですが、頑張ってみようと思えました。

現在、稲垣先生のもとで、生花などの日本文化を英語で勉強したり、英語劇を通じ表現方法を学んだりしています。これを役立てながら、国際交流という第二の人生を体力の続く限り楽しんでいきたいと思えます。

よろしくお願い申し上げます。

さいたま市南区 丸田 泰正

サラリーマンを退職し、現在はメタボを気にして週3日(月水金)はアルバイトをしています。FFSの活動を知ったのは「いきいき英会話」のチームメート高橋様からで沼会長をご紹介頂き、趣味でやっているWeb制作とかパソコン利用で何かお役に立つことがあればと入会させて頂きました。

折りしも、この会報を編集するお手伝いをする事になりました。

それにThe Friendship of Saitamaのホームページの管理者をお受けいたしました。

今後さまざまな話題をWebPageで展開して行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒331-0815 さいたま市北区大成町4-202

TEL: 048-664-2723 FAX: 048-664-2723

発行日 2007年8月1日 第68号

FFI <http://www.friendshipforce.org>

FFJ <http://www.friendshipforce.jp/>

FFS <http://www.h7.dion.ne.jp/%7esaitama/>